

本庄市一般廃棄物処理基本計画（本庄市食品ロス削減推進計画）（案）に対する意見と市の考え方

1. 意見等の募集期間：令和6年1月9日（火）～令和6年2月8日（木）
2. 意見等の受付人数： 2人 6件 （提出方法の内訳：郵送1人、電子メール1人）
3. 提出された意見及び市の考え方

（1）計画全般に関するご意見

	頁	提出された意見	提出された意見に対する市の考え方
1	-	<p>本庄市のゴミ袋は値段が安すぎる気がします。このことも安易にゴミを出しやすくしている要因ではないでしょうか。ゴミ袋の価格が高ければ、無料で回収する資源ゴミへ回そうとする意識も芽生えます。ルールの変更には市民から反発があると思いますが、一方で市民の環境問題への認識も高まっています。市に率先してゴミ削減のための効果ある方法を進めていってほしいです。</p>	<p>本庄市、美里町、神川町及び上里町で構成する児玉郡市においては、ごみの適正分別と収集業務の安全確保等を目的に「児玉郡市共通認定袋」として規格を定め、販売価格については、小売業者ごとに設定しております。</p> <p>85 頁、目標達成に向けた具体的施策の展開に記載のとおり、新たな分別区分の検討や、排出マナー向上に向けた啓発活動等によりごみの削減に努めて参ります。</p>
2	-	<p>一人当たりのゴミの排出量が埼玉県でワースト1位という事実は、本庄市で生まれ育った者としてとても悲しく、また恥ずかしいことです。この課題は、市民の環境問題への意識が低く啓蒙が必要、ということだけでは解決しない課題だと思います。排出ゴミの減少は、仕組みやルールで必ず実現できることだと考えます。</p>	<p>80 頁から 83 頁、減量化・資源化計画に記載のとおり、これまで実施してきた様々な取組に加えて、新たな取組も進めて参ります。</p>

(2) 第2編 市の概況及び廃棄物処理の現状 に関するご意見

	頁	提出された意見	提出された意見に対する市の考え方
3	54	<p>計画案の54ページに、収集頻度が低いことなどから、資源物となるものも、可燃ごみや不燃ごみとして出されていることがあると書かれています。計画案にも書かれている通り、資源ごみの回収頻度を上げること、回収場所を増やすことなど、市民が出すゴミを資源とするための工夫が不可欠です。またそのような小さな変更だけで、ゴミが減り資源が増えるのであれば、すぐに着手すべきです。</p>	<p>54頁に記載のとおり、資源物の適正な排出に向けた周知・啓発に加え、排出機会を増やすなど、収集体制の変更の検討も重要であると認識しております。</p>
4	57	<p>57ページの表2-4-4を見ると、ゴミを多く排出している市町村は、ゴミの分別種類が少ない自治体のように思えます。現在、全国の多くの自治体でプラスチックゴミのリサイクル化が当たり前になっていますが、児玉郡市では実施の目処がありません。他の市町村では資源となるプラスチックが、本庄市ではただのゴミとなっています。全て燃やしてしまった方がコストはかからないのかもしれませんが、環境への配慮、後の世代への責任、また教育的側面からしても、コストをかけてでもリサイクルできるものはした方がいいと思います。</p>	<p>85頁、目標達成に向けた具体的施策の展開に記載のとおり、新たな分別区分を検討して参ります。</p>

(3) 第3編 一般廃棄物処理基本計画 に関するご意見

	頁	提出された意見	提出された意見に対する市の考え方
5	84	84 ページに分別の見直しについても触れられていますが、早急に検討していただきたいです。	85 頁、目標達成に向けた具体的施策の展開に記載のとおり、ごみの削減や資源化率の向上に努めて参ります。

(4) 第4編 本庄市食品ロス削減推進計画 に関するご意見

	頁	提出された意見	提出された意見に対する市の考え方
6	106、 107	<p>食品ロス削減に関する取組</p> <p>P106 商品が欠品…許容する意識を持つ。 賞味期限を過ぎた商品であっても、すぐに食べられなくなるわけではないことを理解し、…</p> <p>P107 水切りを徹底 季節商品は予約制</p> <p>家庭⇔スーパー 売上げだけに注目しない。仕入れを減らすとロスも減るのでは？</p> <p>☆半額シールはお得だし、ロスも減ります。</p> <p>各スーパー年末のおせち、恵方巻き、あふれるほどありましたが、ロスしていませんか。これからは売り切れがあってもいいと考えます。</p>	106 頁から 110 頁、食品ロス削減に関する取組に記載のとおり、市民、食品関連事業者等が「役割と行動」を理解し、実践できるよう努めて参ります。